

みちのく未来通信

みちのくの夏は再会の夏

～仲間との交流が、夢を支える大きな力に！～

3期生の集いから約4ヶ月。思いや夢を語り合った仲間と再会できる機会を設けました。7月6日に東京・仙台でそれぞれBBQ大会を、8月3日～4日に仙台で「夏の集い」を開催しました。



夏の集い

仙台市秋保で「夏の集い」を開催しました。久しぶりに会った参加者たちは、先輩みちのく生が中心となって会話を盛り上げ、すぐに一つの輪になりました。お互いの事を積極的に知ろうとする姿が印象的でした。

猛暑の中、パターゴルフから始まったプログラム。汗だくになりながらもミラクルショットが続発。チーム戦で大いに盛り上がりました。キャンプファイヤーでは、皆が花火を片手に大はしゃぎ。お互い写真を撮り合って、夏の思い出作りを楽しんでいました。

1日目最後のプログラムは「語りの時間」。子ども達は自分の言葉で聴することなく、思いを語り合っていました。「普段、友人とは恥ずかしくて将来の目標や夢についてあまり話すことはない。この場だからこそ自分の思いを言葉にすることができる。自分の夢ややりたいことが整理され、再確認できる良い機会だと思う。」という声がありました。部屋に戻ってから、遅くまで話し込んでいたようです。

<1日目>	<2日目>
パターゴルフ	野外炊飯(カレー作り)
フリータイム	
BBQ	
キャンプファイヤー	
語りの時間	



みちのく Topics

佐藤 清
(ニックネーム: きよっさん)

今年の4月にカゴメから来ました。岩手県と気仙沼エリアを担当。学校を訪問し、先生と一緒に、子ども達の夢を応援しています！家庭を愛するインドア派です♪

中村 杏菜
(ニックネーム: あんちゃん)

今年の6月にロート製薬から来ました。気仙沼と石巻を除く宮城県全域を担当しています。初めての東北での生活を楽しくながら、子ども達のために日々頑張っています！雪山を愛するアウトドア派です♪



新しいスタッフが加わりました!

瀬川 敏克
(ニックネーム: かつん)

今年の6月にロート製薬から来ました。みちのく生の命名によりニックネームがかつんになりました！事務局で寄附金の窓口担当です。よろしくお願いします。川を愛するアウトドア派です♪

寄附金状況報告

	金額(千円)	金額比率	件数	件数比率
個人	429,712	28%	13,871	89%
法人・団体	1,088,286	72%	1,663	11%
合計	1,517,998	100%	15,534	100%

*2014年8月31日現在

2014年8月31日時点で約15億円のご寄附を頂戴しております。件数ベースでは15,000件を超えております。寄附者の方々からのご紹介で新規にご寄附いただく方もたくさんおられます。皆様の高いお志に感謝するとともに、子ども達のために大切に使用まいります。当基金では震災時0歳の子ども達が成人する25年後までに約40億円が必要であると見込んでおり、現状は必要額の40%に満たない状況です。今後も引き続き、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様からのご寄附は、すべて震災遺児の学費として使わせていただいております。

■ご寄附方法 「銀行振込」「クレジットカードによる引き落とし」「現金書留」のいずれかをお選びいただけます。みちのく未来基金へのご寄附は寄附金控除の対象となります。

- 七十七銀行 店舗コード: 本店 100 普通預金 口座番号 7951345 三菱東京UFJ銀行 店舗コード: 仙台支店 314 普通預金 口座番号 0271354
- ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へのお振込 記号 18150 記号 27549411 他銀行からゆうちょ銀行へのお振込 店名 八ー八 店番 818 普通預金 口座番号 2754941

*上記のいずれかの口座にお振込み下さい。(お振込みには手数料がかかります) *受領書発行ご希望の場合は、お電話・FAXもしくはE-mailにて送付先をご連絡下さい。クレジットによるご寄附の場合 ホームページアドレスから入り、クレジット決済画面にてお申込みください。 みちのく未来基金 検索

<特別支援企業・団体> *ご寄附に加えて、社員を常勤スタッフとして派遣載っている企業・団体 エバラ食品工業(株)

<支援企業・団体> *5年間で5百万円以上もしくは単年で1千万円以上のご寄附を戴いている企業・団体 旭精工(株)/アトム(株)/アール・アイ・エー(株)アンズコーポレーション/(株)一如社/岩井機械工業(株)/岩瀬コスファ(株)/ヴァンネット/エムスリー(株)/大木/(株)O2(オーツー)/化成工業(株)/カナエ/NPO法人キャットミント/(株)協和/(株)国元商会/コクヨ東北販売(株)/小菅(株)/サークルKサンクス/三省製薬(株)/山陽技研(株)/三和工業(株)/XCDG/CKD(株)/ジャスト/スターバックス コーヒー ジャパン(株)/世界思想社教学社/大地みらい信用金庫/(株)土土/東洋ビューティ(株)/トレンディ/日進工具(株)/日本澱粉工業(株)/日本臨床口腔外科医会/熱研プラント工業(株)/ノリツ/(株)ハーティウォンツ/(株)北海道新聞社/フクダ電子(株)/不二製油(株)/富士ゼロックス宮城(株)/BLEA/北陸朝日放送(株)/ホスピタリティエージェント/(有)丸山珈琲/三菱自動車工業 STEP 基金/宮川興業(株)/未来航空(株)/ヤオコー/(株)薬王堂/八千代電設工業(株)/ユニー/(株)Reach for the stars/医療法人社団 和幸会/

<後援企業・団体> 五十嵐 ICT プロモーション/岩手日報社/河北新報社/合同会社コース・アクション/鈴木友隆公認会計士事務所/福島民報社/公立学校法人宮城大学/

<発起企業> カゴメ(株)/カルビー(株)/ロート製薬(株)/(五十音順) その他ご協力頂いている全ての皆様に感謝致します。 Copyright(c) 2011 公益財団法人みちのく未来基金 All Rights Reserved.

* BBQ大会や夏の集いなど交流イベントの費用については、基金運営4社からの寄附金で賄っております。

BBQ大会

今年度、3期生が初めて参加する交流イベントでした。「どこから来たの?」「何高出身?」などと後輩を気遣う1期生、2期生の姿が見られました。仙台会場では、サポーターの方からいただいたスイカを使ったスイカ割りで大いに盛り上がり、デザートとしておいしくいただきました。



東京会場では、イベント終了後も何人かで引き続き花火を楽しんだとの報告もありました。



再会の夏を終えて

「また来たい」「普段の友達とは話さないことを話せた」「もっとたくさんの人と交流していきたい」という声を聴くことができました。解散後も輪になってなかなか帰ろうとしない子ども達の姿が印象的でした。みちのく生同士の交流は彼らの夢を支える、大きな力になると信じています。今後も子ども達同士の交流のきっかけとなるイベントを、継続して企画していきたいと思えます。



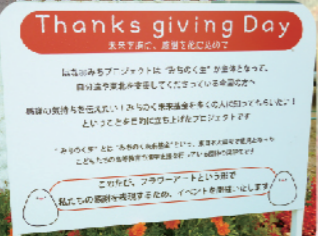
みちのくフラワープロジェクト

～Thanksgiving Day 未来を胸に、感謝を花に込めて～

始まりは2013年9月のみちのく未来基金交流イベント。1期生2人のなにげない会話から始まりました。「スタッフの人が基金のことが知られてなくて苦労してみたい」「後輩の中には、基金を知らなくて、夢への第一歩をあきらめてるかも」「じゃあ、なにか私たちができることってないかな」みちのく未来基金をもっと多くの人に知ってもらいたい同じ境遇にある後輩達のために力になりたい。その純粋な思いが繋がって、2人が発起人となってこのプロジェクトは始まりました。



当初は1期生で始まった企画ですが、交流を通じて先輩達から話を聞いた2期生・3期生達も「力になりたい」とメンバーに参加。プロジェクトが具体性を帯びるにしたがって、基金にご寄附をいただいているサポーターの皆さんのみならず、全国からの被災地への支援に対する感謝の気持ちが大きくなっていきました。



「ありがとうの気持ちを伝えたい」という想いを乗せ、この活動はフラワーアートという形になりました。みちのく生はこれまで支援を「受ける」側でしたが、まだ見ぬ後輩達のために支援を「する」側へと成長していきました。はなみちプロジェクトの成果がまさにみちのく生の成長を表しています。これからも自ら羽ばたいていく彼らを応援していきます！



4期生は97名がエントリー

～夢への第一歩を踏み出した子ども達を応援します！～

今年度、岩手・宮城・福島沿岸部の高校を中心に訪問した結果、2015年春卒業予定の震災遺児は131名に上りました。そのうち91名が進学希望の子ども達で、浪人生を合わせると97名が4期生候補となりました。彼らは震災当時、中学2年生の世代が中心。将来の夢を見据えて、高校受験に備えていた時期でした。今年度もエントリーした子ども達に、基金のスタッフが面談を実施。基金概要の説明後に高校生活でがんばっていたことや、将来の夢についてなどを語ってもらいました。

県別進学予定者状況 (2014年8月末現在)

エリア	人数
岩手県	31
宮城県	61
福島県	2
3県以外	3
合計	97



▲面談の様子

子ども達の声

宮城県気仙沼市 Kさん 国立大学の国際系を志望
震災後、支援の一環で留学を体験。様々な国の異なる価値観に触れることで、自分を見つめ直すことができた。将来は世界と関われる仕事をしたいと思うようになった。

岩手県釜石市 Iさん 国立大学の教育系を志望
中学校の時、震災の影響もあり、大好きな野球をやめようと思った事があった。その時、尊敬できる先生と巡り合うことができ、野球を続けることができた。今後も野球と関わりながら、生徒の夢を応援できる先生になりたい。

岩手県宮古市 Hさん 私立大学の工学系を志望
震災で故郷が壊れてしまった。とても悲しかった。自分に何かできることがないか真剣に考えた。将来は工事現場の監督となり、街の復興に携わっていく道を目指すことにした。

岩手県山田町 Sさん 専門学校の幼児教育系を志望
避難所で一緒にくらしていた子ども達の面倒を見ていたことがあったが、とても楽しかった。あの状況の中で子ども達の笑顔は宝物だった。子ども達の気持ちが理解できる保育士になりたい。



▲高校生に直接基金概要を説明

「成長する力」に支えられて

みちのく未来基金へのエントリーは、基本的に学校の先生を通じて行われます。震災以降、命と向き合う防災教育を通じて生徒たちに寄り添っている石巻西高校の齋藤校長先生に被災地の現状について伺いました。

宮城県石巻西高等学校 校長 齋藤幸男先生

みちのく未来基金の支援のおかげで、将来に希望を失いかけていた生徒で救われた者が多く、大変感謝しています。石巻西高校では震災後、「ここからだのアンケート」を実施し生徒たちの心のケアに取り組んでいます。中にはPTSD^{*1}で苦しみながらも、そのつらさを乗り越えることで成長していく生徒もいます。そのような状況に「PTG^{*2}的な何か」を感じています。

*1 Post-Traumatic Stress Disorder: 心的外傷後ストレス障害
*2 Post-Traumatic Growth: 心的外傷後成長

苦しみを乗り越えた生徒たちはスイッチが入りやすくなっています。先日も1年生が校歌の練習を中庭でしていた際に、それを見ていた2年生、3年生も一緒に歌い始め、最後は全校を巻き込んで大合唱となりました。生徒たちの心を一つにして前に進みたいという気持ちの表れだと思います。

教師は前に進もうとする生徒たちに対して、「高め合う場」を設けていく必要があります。寄り添いながら背中を押された生徒たちは、自ら考え、企画し、実践していきます。大人たちはその姿を見て、子どもたちの笑顔に救われていきました。「生徒を育てるのは生徒である」「教師を育てるのは生徒である」「学校をつくるのは生徒である」、そして「ひとつ上」の自分を目指して歩んでいます。みちのく未来基金も生徒たちの「成長する力」を信じながら、ともに繋がっていくことを願っています。

